

『 財務大臣の所信について 』

立憲民主党 福田 昭 夫

はじめに

1. 日本経済の現状について

- (1) 大臣の現状認識について・・・資料1・2 (鈴木財務大臣)
- (2) アベノミクスの3本の矢が日本経済の大きなリスクではないのか (鈴木財務大臣)
- ①大胆な金融緩和：異次元の金融緩和(過度な円安政策)約10年、出口が見つからない
 - ②機動的な財政支出：国及び地方の長期債務残高の増加、令和4年度1,242兆円見込み
 - ③民間主導の成長戦略：政府の手厚い保護政策(円安政策・優遇税制・非正規社員への置き換え)等によって、企業の付加価値を高め、労働生産性を上げる力が低下したのでは？

2. 財政政策等の基本的な考え方について

- (1) 新しい資本主義の定義について (鈴木財務大臣)
- (2) 新自由主義の何処をどのように直すのか (鈴木財務大臣)
- (3) 政府が意図的・計画的に造成した法人企業の内部留保資金・家計の金融資産を改める考えはあるのか (鈴木財務大臣)
- (4) 令和5年度予算について (鈴木財務大臣 ①を除く)
- ①健全な財政とはどういう状態を指すのですか (財務副大臣)
 - ②財政破綻の心配はありませんか
 - ③太平洋戦争後の財政破綻状態をどのように乗り越えましたか
- (5) 税体系全般の見直しについて (鈴木財務大臣)
- ①どんな考えで見直すのですか
 - ②国の基幹三税(消費税・法人税・所得税(金融所得課税を含む))の大改革が必要だと考えるが、如何か
 - ③②の際、直接税で弾性値の高い税目に変えることが必要だと考えるが、如何か

3. アベノミクスの過度な円安政策の見直しについて

- (1) 円安が日本を滅ぼすという指摘について (黒田日本銀行総裁)
- (2) 現在考えられる円安を見直す一番いい方法について (鈴木財務大臣)

おわりに

要求大臣：鈴木財務大臣 財務副大臣

政府参考人：黒田日本銀行総裁